鮮魔業計畫中特にわれらの注意

來るであらう。

れ目隱立派な関値をもつてゐる

時であるが故に、古ほど緊急な

義をもつものでないかもし

農業開催の調整といふこ

い。内地に於いては既に農薬団

各地の地域的、敗は地方的特殊 研究調査すべくもないやうに 究調査は開鮮の不地特に於いて

が全朝鮮的な威時食糧増重とい 研究調査はなるほどそれ自然科

と稱してよい。

郷、區々であることは慶民をし

令、蜒厥、燃源が極めて複

である。かくる状態は到底いつ

来る。その意味で農業試験機関 的統一が絶對に必要となって

しなければならぬことはその名 のである。けれどもここに注意 る説明によっても容易に理解出

說社

農業計畫中の二問題

考重要案件であって、 總督所が

堂々南太平洋を壓すわが海軍新鋭攻撃機(lighengang lightengen look) 層線

更減成を促進せしめるといふこ の有つ重要衰滅は以上の簡単な とを意味する。このこつの事項

意くものに、歴業試験機関の 過般無管所より競表された朝

の調整という二項がある。この

ない。歴業試験機関の整備充實 としてとりあげて、速熱なる質 これを農業計畫の

ことであり、農業開催の調整と

を行つて居り、決してその存在

から出強しなければならぬとい

なければならぬとすれば、魔学 ぬ。要は一つの科暴的研究も図

に関する試験調査研究もそこに

せしめてゐるかは、も早や説明 相関の 如何の 墨林指導を混画原體の黒立てることのよる意識

内地の 複雑せる事情から

登は漸く緒につかんとしてゐる

自體極めて有意義なる調査研究

出着くは光沢的課題ともいるべ る意図の自給自足機制と墨國際

動を不可能にすることを目標にし

たのである、然るにこの大器巨

第三次 ソロモン 海戦 (十一月十 りに第二次ソロモン海戦(八月廿

密陳主義は基地そのもの

趣味された、特にフロリダ島:

選しといはれる。 帝國海軍航空隊

レようとしてあるかを物語るもの

あり、これが『沈まざる航空

の怒淵を制壓し西太平洋へ進攻す

れば今なほ南太平洋において決戦 海賊が散はれてからし年、われわの大戦男を難げた第一次ソロモン

に次立決戦を継げてゐる、レかし

米主力艦の陣容無力化

元に全等力を傾倒するに至った、

温地は艦隊に従属すべきか

基地航空隊主義を强行

點に集中されてゐる

ン海戦(八月七日―九日)を皮切

へと鍵を変へるたびにその機相

一樓、潜水縣三隻、 韓吳船士

給線であるが、これを戦極の而よ られ、この間において米海軍の敗

り見る戦局は大鵬次の三期に分け 職権の種興、職事の本質は職多利

世日)よりルンガ沖ンレル島沖海戦(1

八島一陸

【東京常語】淡洋源十四隻、廳落】通り磯力蔵を運制レつこめる、敞

直視せよ、生産補給戰の本質

(八月七日)ルンガ沖夜歌(十一条)、朔一第一次 ソロモン 海歌

米の激闘續

次を弾したが、小磯縣督は恐爛線水密灘災民に對し御下賜金の御ゆ 御内帑金下賜水害罹災民に 小平北及び威陽の各道管内の七月中旬における会園北、歴

相當激落なる破害を限り、本日し、堤跡、貯水池の決済峰に因り

8をもつて百七十機を緊墜した一沖後戦(七月十二日)となり、カリ只中に全機突入し総戦する戦 月四日一五日)コロンバンガラ島 援せんとした結果クラ酸変取 (七) して兵力を揚煙し、しかも緻々増 敵は窓及同方面のわが基地に直接 これは敵が維給戦において可成り

米が決取に減ぐ決戦を練返して る南太平洋の一點は双方とも

に同方面への補給取を避けたが、一地、物資集積所などが炎に云れた

小型隐涵服不坐、题逐殿一隻、上陸

至近で頡頏する基地

用ふる常養学校である

禁止の申入 亡命政客入

豊気れ國

山國猛然

ヨニューギニャ南岸のボー

が、全機局に見て濠川はアメリ

作戦は がつわりた 学近の 距離で

過に図訳と中の関語の

者 祥 靈 村 田

してゐる、これらの基地を握力

ンを繋ぐ戦略、角形を占め、そ

の上ミルン器のラビあるひはブル

卑劣な脅迫手段

でり、これに耐しわが随客は今戦

ひつくあるニュージョージャ屋の

シダ、ヨロンパンガラ島、

・レス元日同盟】米一二、五月一日以降八月三日本で 對亞輸出許可取消通告の內容

五日石い

が、ア

カビエングを占め東部ニュ

ーギニャに治いてはラエ、サラモ

は米類はガダルカナル島より東

輸出業者一萬六千に関レアルゼン 酸職等經濟局に近る、日夜金米の

濠

スカ島東南海面に於いて去る 【北太平洋方面OO基地で日 圏艦隊と誤認したのか、 敵艦隊同志打ち

キスカ沖合で醜態を暴襲

方とも傷いき相當の撮影を出

た機能であるが、開戦以来

れて関係省の新設された

水の が 廃止の 高重要

く、その間に相信の伸縮性を終っている。 今後 アルゼンチン 関政府の態度

は五日開催され

即当米國政府今回の指面に会話

伊、組合省廢止 商務省で新設 金目開催された職談で司法等

地に翻言れた、この聞るべく

の無数能は関節の周率復復か りを加強に現かしたものとい

へ、味方の膨影すら識別出來

へる

では、 一次名出身)陸軍上帝兵を山勝 一次名出身)陸軍上帝兵を山勝 大部下の観を観を聴くして、 路の に下地(
静岡縣濱名郡神八呂村)た。 部下の観を観を聴くして、 路の 敵陣に斬 **闘らぬ。大野挺身隊」の偉勳**

自分の心情を憐れみ給ひ、この命 決死敵地へ突入 と響うた、廿四日 夜殿友たちの 日八時一同に通られて中尉は落雪 を開いた、幽躍の炸裂する製きは、 た。無難の適数に配立した中島は 「響って 悪感に報い率り ます」 青鉛筆で走り書をして

繼行錄

に對しガダルカナル号開隊が写品

から瀬一ケ年、野町的な歌兵力

類勝を挽回せんとして必死の 東京館話】敗戦縮老のアメリ

野身際として決死ルンガ河三角洲

なる機器と山砲射器下に第二

ある敵の高等司令部に突入比烈

りに二條の照煙があがつたとい らう、大野中尉の豪騰、洪島伍長

ルンガ河下流域の高等司令部めた脚助を受けて目的を塗りてゐる。

井島は甘三歳、杉山は甘五蔵であ

大野中尉は治民際で司令部附将便

の三國體の翻撃が議論のみに対 管官職の區園主義についても同 関して、敢然大同に赴くの場 型子に拘泥してあるからである 具態化せぬのは各その

の決戦の古中に小事に拘泥して 選に大事を忘るるに至ることを





たのだらう、工気として機能 たらつ其、成古を確認さる

中島が出發の際一月六日夜半決行

の沈滑、杉山上奈良の庭面目さか

液射注度調疫兒

・ 全大松井投手の追憶網栓 日本 | 大宮 府 道場 | の古今 優勝 力士 物語 | 山本省 | 大宮 府 道場 | の古今 優勝 力士 物語 | 山本省 | 大宮 府 道場 | に就て座談会 | に対す |

いのののは

P

地帯へ飛び込んと 随地を占領し際の背後を脱んで、そしてアウンラこしてコー 向いて他標躍雨の中の思道を進ん て絶つた、前進の大野中尉はど すると豫定日取る機管し部下 その後の挺身隊 達成へ 買しま

あった。

勒莱證券 日興眾亦 小池路券 羅本證券 野村毘券 川島屋證券 官邸に開催、まつ東條節

後祭路顧問籍、問心時否 強備会中より特別語言園 【編問報語】朝鮮風 田中鮮銀總裁官 分別に対している。 遊 £ 大大 (1) 大 (1) 大大 (1) 大 (1)

崑崩

號 月 八 錢一四·價賣 行發祖聞新日朝

落下傘降下戰闘記機

南太平洋書信 與路

cog

二元:40七京東管操 房 書

台河区田神京東

日本文化の指列を書音の造し意見論によって展開した新田型かな、日本文化の名の方を書音の造し意見論によって展開した新田型かな、日本文化の名の方を書音の造し意見論によって展開した新田型かな、日本文化の名の方を書音の造し意見論によって展開した新田型かな、日本文化の名のであり而も異色ある著書であることを特に展測したが。

眞

自分にこんな强い力があら をは知らなかつたと全讀 が身中の力と人の力 天型にない力があら 天型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にない力があら 大型にないる。 天 區川石小市京東 所行發 京東陸口登議 部 本 道

っない、然るに 修織が 其の間

い。成であるが我々國民は出來るだ

られるのであって一般民態物資は一の徹底を関リ、延ては戦力の増照

住宅營團建設戶

三千三百五十戸

取扱いに既全を明ずるため今回特

の段階に突入し、物資生産の重點

の此等思徳業者の取締を悪化

(制令等の 総能法規に 基く公定文 別なしに適用されるのであってもから、 光郎全面に高り 関格等級 荷も修繕を高すときは難彼の協 荷も修繕を高すときは難彼の協 げ現在あるものの特久利用を励る

勞務管理の徹底

風) に達した、なほ未竣工の出來

文部省維新史料編修官 藤井玉夫的

とある。徳辰帝の様師を襲ぶこととこれ能は申礼赦りは、火引りは支とある。徳辰帝の様師を襲ぶこととこれ能は明命と、然るに明治している。徳名に明治している。徳名に明治している。徳名に明治している。徳名に明治し

常心報へあるべきことをお願しに 起下したなつた。一に聖職に出て 軍人へ賜へる號談を 明治天皇が

今朝鮮に於いて徹民令が登施せ

「第一」の外用スルフォンアミド剤

●最高純度テラポールの、化酸菌・

に對する強き抗菌力を、患部に

●創面を淨化して化膿を妨ぎ、肉

製藥株式會社

直接作用せしむる新外用劑。

傷傷 膿面

瘍·痔 疾 脱皮疹

一、軍人ハ武萬ヲ省フヘシ 一、軽人ハ魔権ヲ正クスヘシ

多く、一家の主人をる者、甌子踊 これがために、過去の歴史に捉

徴兵制の試煉 る所謂鉛合民が、趣國の軍として

人の驚異する處である。その發展

【東京電話】速信省では昨年十

爲替取扱開始 香港間に電信

東 東人へ賜へ のである。

不思義にも時代の流れには、一

制度然るベレとあって、微反令の間に議せられたのであるが、微反

する御沙汰瘡が下された。姿に鑑 が、野し響る。 一人丁肚ヲ募リ、軍盟ヲ波ケ、以 一人丁肚ヲ募リ、軍盟ヲ波ケ、以 一人丁肚ヲ募リ、軍盟ヲ波ケ、以

明治四年七月十四日郡太陽潘

と。同時に告願が設せられて、御

り歌次具盤化されつくあるが、先

島労務管理は順次にわたる部督 | 府側よりは

平壌及び成興で懇談會

設定した小型緊張しばその立地係 **り朝鮮、瀬洲、北支、マライ**

頭企演整備に伴ふば袋保有質問の 命された 東京復活 三井信託では殿力増 長には確 の緊急増減を目指して昨年末一てはかなりの期待を寄せ、今回こ 鎔鑛爐の促進 出光氏等が來鮮協議

質を開催することくなり生産部の出光施設深長及び樹工省金融局の れが建設促進のため影響との默談 本府殖產品では八月中銅質物置指

數を集計中であつ次が、完成した

ぞれ減少してゐる

など、軍人たるの心臓へを示して

る。師ち「皇軍」の「皇軍」たる

|開設して民物を仰べなければなら | 薬を有する軍隊が出來上るのであ 十六萬七千圓

月

ス高橋原大明県山地方無津岳 現け、開州和台八年十月第日 関ナノ原州和台八年十月参日 現は、東北全国 現は、東北全国 では、東北全国 では、東北会国 では、東北会社 では、東北会 では、東北会 では、東北会 では、東北会 では、東北会 では、東北会 では、東、東 では、東、東

曾社の大規模なる合併計業が大概 省を中心に進められ、これが經營 合理化を急がれてある。朝鮮にお

は十二社、損害保険十七社をそれ和士三年八月に比すれば生命保険 地支店世社合計世一社でこれを昭

● 単型● 単型● 単型● 「中国○ 「中国</ 【大田紅語】华島恩地遊戲調查 华島農地視察

六月中卸賣物 保險業の

)統合

あげ五日午前九時より大東毗南部に関係業者を集め同省より関係係

(員五十九人、校敷八十三枚、金

證券市況(美男)

額十六萬七千二百一四國にして内

皆示した

生産・加工治よび生品の配給に四新側規定の内容な大機同一で

城、熊内語者館に職幣所關係官の

あつたが、その第一参手としてま

れく、殿町申請中の統制規定を 網人間、羊毛、麻四統側指より子

六日附官報で告示

総模型が選加せられ、此の規制と「鑑み、資格等続期令の立場よりすであるが、今回物品の質質の外に「時間的業者も見受けらるる質問に

品の質質をその對策としてゐたの

るる社会が受保しついある一部引

りれた、産衆本規則は主として 流線解析器管所所令を以て使用せ

に注意が望ましいのである。 管直派の整備電施準備を進めつつ 【東京館画】塵林省では戦力増強 の素類整備 食料物資味 それく全選整備の緊急已むを得し

内地向のいないず対湖供給上から 鐵鋼の増産策

九日に關係者が

■正 六日附週刊1 頭 同郷立』 泊東中 『第一回郷立』 泊東中 『第一回郷込

四統制會規定

七日附款部府官報を以て登表したが、石は発布の日上り変施する、たじし第二の表示の業務は

一日より施行する、奮闘談左の通り

惡徳業者は處罰

要改 點正

以て石陂正規順を豪花、慢極空識間合ので落とりする廣道と俯立てこれが取締を行ふことな修經網金の不智な脱憾を伴へるため、今回極管だては無利討場では湍規則を改定し、七日隣を修經網金の不智な脱憾を伴へるため、

公暴利等取締改正規則發布

自肅强

建國以來の

別や認かは語うでものである。近、住跡を含ふとごろの一系観れざるのである。近、住跡を含ったころの一系観れざる

す己か武能を懸さむこりとも低らす大敵をり

) 朝鮮證券取引所實物取引の飛躍時代

發足

尚武の氣風

一御職しになったものと無派する

で、 響関の大戦の下に進むことを御示。 戦闘では駆い着音がに武を渡すとて、 撃國の大戦の下に進むことを御示。 戦闘では駆い着音がに武を渡すと たつも し 要ばれたのである ハックできょう する

2.5×4・ 「大名は日本名書は重文 なばれば、ないと同志し始め、常 としてめる。然しし現大命くだれながなが確立さに通うなのである。日 ことに関わるいと思いないと同志し始め、常 としてめる。然しし現大命くだれ

とも敬て行く、われ窓が毎日大本とも敬て行く、われ窓が毎日大本 悟が必要に、任務遂行に際しては

難消在住日本人の意識はわれ郷の語で自給機保レトラと北支在住半島人等が農業農職の沃

管々汗の美田に今ぞ稔り

敵城域の新兵器となって職果を必 心歌し、この祭具必ずや南洋の単 約と積極的な意図の赤心にいたく

メナース・ナース・デーナ

空の防人へ耳の贈物

監視隊へ米機爆音集圓盤配布

超過1

閣は七日午前十時五分京城麓、坂 京最近数計會派型の母音等地學師

を開に

感激を

概かせながら一路

歴

下關陸病で

とするもの――【写真―米機場情

国による防空訓練を集ねて異はろ

いるでせつとないの言葉をもつて

れが行をれてある

新田及が間が無ごて被助すると、

北支の半島人へ

贈り

更生の大地

脱み落葉松林を分けて耐直域より無電棒

クー言に謝戦して海虹武官府を訪

り逸ぎ心理魔を今更、海軍武官・現代なるとをはつきり自襲して

以て終始したのであつ

| 関語文明経路三百七十一配を必 とした説取下精致の再出種を響る 『関あつての階級だ。そして

しもに四百年前から傾ひなれた

て献納することに一次、金郎文

完んじて六日 朴隆大堤 製

際伍と服格なる規律を

一次を征機整々だる

林山将運歩にむ似

立つた朴潔大提展以下回幹部は、

金融でる場上の

人般気気波経歴院から、

百年の時間を置って來た陰器の

祭器脈系の赤派に松本大店に感激 に同類を紅明できて次のやうに無

質と動物な反攻を繰返し、小僧らしく難となく夜とな

經學院が祭器を残らず献納

何に馴染まれた自断山も既はまだ納多路

今回の資品制質施を記念して新がそれ(「歐朗の受納をなした」 ゐるが八日午前中枢力戦場に届け は連日の如く各方面に避けられて

慰謝厥激で迎へた徹長制質施の昭京成養正中學校脈質。生徒一同は

、み民われの誠

養正中から献金

る、朝鮮観賞振興電で は自頭山登行線成城を

山頂の神器線成と線流 総成成山白頭山とどろ

調査に後多数重な成果

國あつての儒教だ

を収めたが今回の登行

五十餘名を擁する人

來る十月一日から歌館するが、何心も肯

の等爲行利暴 正改則規締取

四年所令をもつて後 | 炭心的な 料金をもつて 自命自戒

物の修織に要る道材、勢力を勘案、 ても、各業者はこれまでの實績や、

された物品の質質

の別象となる修輸品が停止料金なし、一定の店を持つてゐる者はそ

級リた――和者はける七日から、後者は

生活を職業に切下げる指承にもなるであ

れるであらうし、策計調査は銃後の決職 後出話をはしいと思想問題以降の一輪さ によって、物の特人利用へ源国ちする統 あつて勝つための決勝施策である。これ 心族的を極める大東面酸銀の減れて中に

括用に決談無数へ起ちあがる銃後

は丸が、或は同様と誰にも分り易 何少成は協定、指定料金なると言 ると当は、低上料金、又は丸傷腫

温度に無くて消費が約に或は物質 以新規則をに追加、大東亜戦争の

この一つの武器人は如何なるものかそ らうが、銃役の決議陣に新しく難り出た

ると今後は服骸の加工領などは従

資材、努力、加工資本とを明報

千月一日から家計測をす

学するとき、域は行動の者はその 義務を貢なされ、外へ出向いて作

を明にして、威時經濟の

ので内鮮人給料生活書(官公これは常に施策の標準となる

がこれには省と田の耕作を主とす

完 例 800億 000億 1

集基徒官 京城 城

にその中間層の消費状況 空って基本的な調養をつづける。 映戦國民生活の實際、特 宮篤、明年九月末日まで一年間に

錢の收支や記入

の重要資料を

を開いている。 を受ける。 をしてる。 をして。 をし

都が別、家族構成別などの状況を

では本調査の根據法令として近く 種名方面の構沢なもので、概督所 實施されるこの家計調査はかく各 つき、簡単である、半島で初めて 四海につざ者「頭海、隅海「鹿と 家は黄海、平北、江原及び城南の 南の 七道いつき各 三郡宛、隅在 北、鷹南、黄海、平北、江原、咸

胃腸障害 常習便秘以

野生の境道 など戦時下の國

れにより殴村生活様態の地域別

戦經済施策の綜合的國家言書開立

連貫などに関する計画、決

これに進行して脱炭の寒計におけ

する境界をいつてゐる 自然が良い的に自己判断して判明

ならしめることによって生活物資

の生產配給計畫、物價政策、資金

して國民の標準的生活状態を明瞭 告、質局ではこれにより通数平均 その他世際の事件を細大漢らさず

これを基に生産や價格決定

取締規則の改正と朝鮮家計調査の貨施を 概型所は物の信頼料を抑へる最利行為等

修繕に、道義の丸

こしとことうミナノしる。子初音とこしとのうを祈さ、そして各条語は常に修確制金・物の修練物の規模が「による概率報金に掲示したいねし」時でも観ぎられるやうにして避りの修練物の規模が「による概要のは、

家計簿に記入、エルを監局に報

京城 一公、后八0、曜 图10、光州

曹通念即ら道強に基いて修練栄養 でしてその不常な修織料とは、社 下の劉金に魔せられる年以下の統役、または二百剛以

年の長別に思り日日の家計収支、

(金鹽、機械浴具、化學、紡織

省の、耕作農家一九四、田の

の地域は、水田の塵家に京畿、全 耕作殿家一一二、倉前三〇六でそ

西大門州が所二附建作業場から破 分ごろ京城得入門臨城底町101

直ちに別が内員、消防器員を

出切消火に対めたが京都道優察

出到、原田智宗部是如歐頭指

された物が

機・ボーイングD17重爆機・を初

る、之は欧米現用の陸上四級重爆

けふから業者は店頭に見積書

わづかの金額ではある

建物史を知る上で貴重なもので要職を行った姿で現はれたがこれらはいづれも朝鮮古代の姿で現はれたがこれらはいづれも朝鮮古代の りと並んで出た、また瓦積の土止等が完全な 規則り下げた箇所に、丸型花崗岩の礎石がずら

得て繋繋を流れる繋河の水を沂河 ころを見失ってるを半品人たちら 高度部の土木事業開係の後後な 引きこれを以て一萬町歩の水田

ので格響所司政局では直ちに登施 いかくりまつ二百萬回の追加 めることに意見の一致をみた



献金の高山君を簡牛さん激励 果町一二九、海山林作氏長男柳刹 ないたくせた可憐な財命が國民間 を節約してためた十銭、五銭と午後側カ戦盟を覆りで防れ小選 微見制の感激が進心をゆするつて

> されわが考古襲界に大きく寄眺することにな 療時代の

> 療地関係、

> 挟絵院成

> 川西麓から後間 心足る當時の建築比や豊陽如來像の歐片が自 【扶餘電話】絢懺たる百濟文化の面影を偲ぶ

域の数々が出光が後期ケ所は東西十八メート

の孫大な佛教教師の片鱗を観ふ菩薩如來像や

ル、南北十四メートルに及び取らく當時の金

管地であらうと根準され無路所の職解発刑士

ものが出て來るが非常に築しみです。

強制地路は自漁時代の寺址と指定さ

勝町歩の水田を建設、迷へる学尉 されてゐるといる、この髪田建設 離北西郊の肝頂りで既祭農城に一 現地自勝者と限談を重ねた結果

るわけである

絢爛偲ぶ百濟文化

神都扶餘で又も遺址を發掘

僕も强い兵隊になります

で開かれた大陸連絡質議に出席し一時間いらずの値を束ぎ勝ちなのだ、昨秋北京一であるとは 北京、天津を中心に北支一階には「と選び北湾にも参先参加、黒上に「の裏にな外が黒遮波員議庫園記簿 たね半島町町の指導教務について一の空に田植明をこだまざせて田植 を田中政務制権はこれら定職を結ったで装飾り、千戸を移植、北文 野に死み早くも今秋一下町歩の選入 挑んで年級排水路、導水路を見事

八郷は正漢を持たず、とかく腹腔。田か雅哉した、飽かに繋がを含む。あるこの魔なしい話も蘇められてして在ぼしてゐるが、そのうち約。襲きあげて本種まプコード町沙の經。同胞からは親にも見べる何がして を了したがその後の天候にも寫る 地に一大精機の平和郷が範別され 職の際には数年前から開拓されて が散然脚頭指揮を続け、半路

相踵ぐ献金 になるようと痛々しい決しつかり勉強して強い足 總聯へ殺到

しての報見制和試事選査金の献命 激圧制に展説、整國の筆精を吐露



| 1 電面機・などの爆闘を巧みに収 P40歳間機・同じく ペパツファ

【下號選話】最後の歐周地佐世保

支 城 京

育社

. 31

加州九七七 知得月占月

他能図録路へ 演

め哨戒爆撃機・ロツキード・ベン

聖坐職師機 クカーを

楽す、心魂を國土の大空の一點に 風の仮も、翳の朝もわが寒を惜し 博馬の解説入りのもので、敵機の

百濟文化の名機りを留めてゐる、さらに當時 調和音廉像の手足、沿冬文様の時(瓦)や映 さらに日ごろご苦労さま……と 網番川防御課及び朝鮮防空湖南で ゐる全版の防空監視隊に動して、 のほどヶ耳の贈物を全鮮の監 は古者に防空脈腿隊は問金を募り

散機開盤四枚つきのアルバムで 際に配布した、この贈物とは、

教所、住宅として供出する 會量は有無相難す 持つてゐる商店

一【十二十一大会な概へを 敷を獨占してあた 小人數で大きな屋 **操性に忍ぶべきだ** 夜日紅の独定を建東六日午前十時 鑑から最後の愛國行進曲まで白衣 院長密多中佐は特に威嚇状を贈っ 下開原年病院を訪問・アソラン民 た、なほ一行は鈴木隊長以下元軍 の第上達の数平の順を浴びて 後二路開館のの熟演=下野の選組版の につい



總合計百十七百十七百二十二

店

接拶を行うた、一行は藍山・ 率けし発光を機に彫みつけ東京人 京成に勢削ひし、唯美面極京畿道

解路は茶は筋路を なる汗を振つて伐採、これを表験所内中事機生が動勢棄仕の概 頭指揮、除以派出動で松坂油貨

☆……決戦の急中・戦 力增强八《解读方 府構内で生産の湿しい た松原田がいま期間

方記印鑑

二付自个無効トス

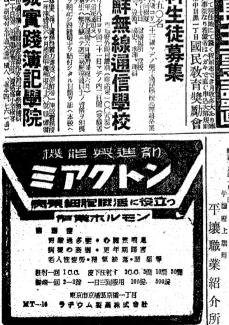
FHFI

意吹きを超ってある 型支配 印鑑八年 は健全娛樂

大普灵 亞 美

設

新知 藤泉 藤田 祭集 科師 客人 目切 格員 生徒募集 他开 一日マデノ内二日間一日マデノ内二日間 教育獎勵 信學校 會關



再生ゴム工業株式會社 一、旅 55 5 55

勝利八各自力 備へヨリ 網層府指示價格区型平2 • 0 0 **草資特許出願中** 甲型膠質衍許可價格至6·01 能內傳統發元。京城府進江領サ三角的 **經茶谷武雄商店**京城出張所 曜話(4)1209・637 大阪・支店・東京・名古閣・上海 解以各自银店及 防肉用品收货店=有引

金製末隣員電電話時世受製半副員品數

創立 登りの

朝鮮テツクス配給統制組合創立事務所朝鮮をツクス配給統制組合創立事務所朝鮮をツクス配給統制組合創立事務所開鮮建築材料的組合聯合會內

足下から掘り下げ

事態語金にして金干圏を販金した 盟軍務局を訪れて衛兵制度施記念 明信氏は六日午後國医秘力朝鮮歌 京成明倫的ニノー五五事際家住庫 千圓を献金

學重聖地參拜

さん▲一個仁川松鳴塚砂五年

二於ラ移入又小成可致二付ライ

とて陸軍へ献釈し天廟れ県國の年世界は臨州英三國を四日本施を通り四日本施を通りの発仕、本以明 中語 『名士屋溪』の発仕、本以明

金属して蛇火した、攻容者には異

高血

神經痛

は

本社寄託献金

國防献金

如本保 事 佛音 以有例 版本部金 行金》金

横線を良くすれば、沿る

女性毎月終神

が原因

に乗るなく 西大門署管内で鐵の申合せ

月若変で納めた形性や桁の家務處 事故の然い並所であるがこの機

大日出帳所長以下の熊員を次の如 ので深る十日から戦口文店出場所 として常議を始めることに決定、 を新級中であったが先頃務成した

これはどうぢゃ

毎月一南大門は、破路が多く後つこ変通

月から廿五日に決る

調をなり許可を受けたので衝撃所出張所開設に就て網路府に認可申

唐期長、中馬端線亞線齊及賜長、

國智謀長、機助密務謀長、盟田藏

府

税の納期を變更

躍進大幅岡展 十五日迄丁

接されてゐれば前子自のある部・泰朝鮮日運動が試合を駆行する「接着社会を持つからと、開、今瓦城県西域県で金嶋東州、け放した場合前中や総長いが消」(京広城県西域県運搬で金嶋東州、は春社を行るのからは、一

弓道對抗試合 大日本武

後を絶たぬ米籔不正受給者の根拠 受けてゐた極悪非道の男が検集さ

を期して吉良主任指揮のもとに念

番員が出動、徹底的調査をすく てゐるたところその槍玉に繋げ

> 松次郎(繪) 十三作

れた西大門區内派町三ノ五三一元

三人の家族で世三人の光版配給を

農漁村文化の華

紙芝居も決戦へ新發足し

一一職を掘つて雄々しく活躍して來

夜間銀行だけ法特に府民の顔官を一末には完成、始政記念日十月一日

· 同じく立五日限りで、京城府 | 工をいるいであるが、やっと元なほ區役所や郵便局での徴攻 | 事に選手、資材機に関ひながら

工費 四十萬回を投じて 地下道 を解消するため一昨年三月から総

朝鮮製道局等、他多各方面の後級 新聞京城機局では國民織力機関・ 金牌航路の開設を記念して四日本 子屋で開く

日は既旧民の変通要別「での踏進大橋随展蹴會々を明価

たが位來の在城紙芝屋攀者は發展の不正受給米で無許可飲食店

町常會に臨んで道送、登職の徹底

以来の如く八月中の質

宣原に統一性をもたせ一方國民総 | 的脈搏を素け新たに朝鮮亜脚有限 | き、関値で八十石九斗を置り

代を増ふ少國民に慰安と思想殿の一三殿盟主催で八日午後七時半から 紙芝居はこの大殿下漁村に盟村に

何時如何なる時に天災地趣があつても闘ふ府民の意識に不安を

既へてはなるまいと決敗食物の貯蔵運搬、配給などの完盟を期

國民最校々座で道から經濟課兵代理神響部、京城食定期査職を行ふごと、なり五日午後三時から永養清

仏敵米英の野推戦に近距第カナる| 名宛値用した雇人を十歩につきー

鍾路の繁華街へ近くお手入れ

決戦へ廻れ右、ですぞ

登消食機報國際では府内のトツブを切って初の

回づつの訓練を解けてゐ

後は火の玉の敵関心に燃え、生蔵皇軍將兵の勢害に脛へ、いまや鈍 するには先づ夜の紫塵荷を飛消せー相應しい健全明期な紫藍街の建直

胸がない

」が普しいといってゐます

地方特約店募集 富

中本ニュー 大幅が 大幅が 大幅が 大幅が 大幅が 大幅が

戸溜飲の下る快刀亂麻の華麗篇 これの こぼれる江戸情緒…殺氣ふくむ幕末の大江(1991年) 1991年 1

一夫・山田五十鈴の

総ガポー

泛

作化ユ

和

本

萬稔ミシン商會

一般では、 ・ できる。 ・ できる

が進書

| 息子の審判|| 本職派作

絕讚上映中

京城寰

塚劇 劇

城

ではどの家庭でも主婦の大きな ではどの家庭でも主婦の大きな

で第一に 下洗ひを 充分にする で第一に 下洗ひを 充分にするといつた風な微細な心際 用するといつた風な微細な心際

工夫一つで石鹼難解消 ふことは不經濟確まりない、酸と、最初から石鹸をゴシー(使 夏の洗濯はかうしませう

常にさ

家庭の主婦は心懸けてこそ銃後の ふことは洗濯 の場合 も頭く要求 質でないとすれば工夫で補ふべく なければならない、石鹸が管理製 でるかといふことが深く考慮され ねばならない。合理的にくとい れ綺麗に洗って着るといふ以外 を記つするものである、酷暑

見受けるのは開鮮物 歌する。ことは今日 得の問景である。光

節約の版からも深く再鋭討さ 潤別な流れめる臨必

ひたいことがあるの、あつちので

三號型(十行)







預調

東代理店 味式會批 玉區所店 原城所實施門二十二十五 東京城所實施門二十二十五

次彫 輸送





志願兵も登壇 軍人精神の真優とは如何なるもの 徴兵制記念の講演會開く

東の都兵通総者や半百女性に対し「地に起って熟職を撮ふまか、在成策の都兵通総者や半百女性に対し「地に起って熟職を撮ふまか、在成 であるかを限と耳とを通じて密診一銃の操作・機能銃動術・裸體々操 させようとするもので、短音講演「軍歌演習を公開・戦もてしたま











点 で、出征軍人家派職安派職大曹を ・出征軍人家派職安派職大曹を に盛夏の一刻を樂 って剪系づいた。彼はうれしくな いかがでこさいますか

『うそつきね、ボーイさんな。お砂郷なんからつよもはひつてゐないらやないの』 「えつ、それはどうも…」 う一つ用事をしてもらひたいんで 『そこに積んである雑誌を發行の『はい、なんでも仕ります』

これでございますか。はい、か 博士は小皇子の横に積んである 二號型(五行)

荷造と運搬 **等新**角等 1750 87% 77% 山西の土地と民 1750 87% 77% 1750 87% 77% 1750 87% 77%





科京縣一人主席語言

三人家族で卅二人分の不正受給

『ちょっと待つて、 静仕さん。 も うとした。すると博士の層がびく なんこも相談みませんでとざい

> ルニ行うニニ人圏へだが発出十ヨヨと 彩製

(場品、全國有名店二有) 萬稔ミシン商會 原城網大頭一丁目九九・電話4011

次彫 3一輸 ス送

佐。

藤 佐藤小丘郎

部厚地大佐、瀬縣西山宣傳課長、森一立委員督を開催、真郷なる計議 をラジオル

デ洋教デサイン質がLSE開電 子学が見な個学業、程度電計事 子学が見な個学業、程度電計事 宝素肥料**販賣蟹**

求土地、建物

二 光 線 科 一 般 東京市中島に古い #新申申と古い 五九七三・五度宮崎 中野 高等無線電信學校

五〇(成)番和豫告(廢郡・ 京日案内

大日本6(金変) | 日本日本6(金変) | 日本6(金変) | 日本6(

公示催

艦船十

捕らぬ狸の皮算用

5日尚記】皮種解釋為一トが近く利見し、日頭形潤、河す 米英首腦近く貿見説

す罰敢に理修ンヂンエ宵徹









構备 東京七二六百 (18年/02日 本) 浦

心臓・胸・胃の歌いかり (事情) 一葉は、山 二瀬分三側近十八、 三瀬が正側。美川天 二瀬が正側。美川天 抗病サルモンを川端するので神野





水域の戦果

作戰目的を達成

定員一個(私八銭)、三編(銀二十四級) 喘息剤 アスト 本舗 不断にヨキス一般作にアスト 想 巴 **美 年 4 4 4 6** 6 本舗 神田區鍛冶町三ノー

佐野博士指導 機ヲ膏導シ祭養ヲ増進マシメ非常時局ニ健康報圖ノ最適期ナリ 本側ハ最新學說ノ合理的高級胃腸藥デ胃腸障碍ヲ恢復シ朮北朝を 高級胃腸藥



増俸を拒絶









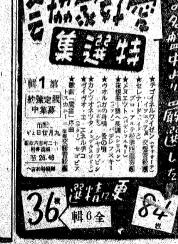




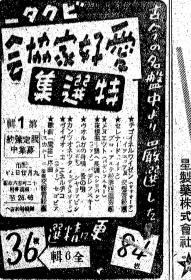












荒鷲米軍陣地を猛爆

かと、血を流すことによって

的に目覚めて來まして、今ではど

である。其の一

神毒を吸出し……

活かせ同胞の

長所

変國觀念は神社**参**拜から

その診臓を後 についてはまた身態同じ場 (て変したな) りますからこれを負債 (は育ら)

母性に望む

朝鮮の婦人の方々には、鬼に角何

すについては、何等の不安はない

活ばれてゐる、 從つて自分の可愛

大根田少佐 不安一掃

陽灼けの顔に無精鬚

白頭登山錬成團元氣で歸る

選挙告祭をなし、殷麻な帥呪奉

幸尺

の心を心として敵の誤略を防衛

し或ひは經濟就制を棄す出取引

け魁に鮮全く近

の指導など決職下の銃後治安の

維各地に駆け今度新に都市の「世家座談宮~を開 し多大な成果を難げてあるが京畿道警察部は全

るためには、戦災害! 関リ東れ、夏の職務の理解を古せ

映乏があつてはと、本形が特に躍

に壁夜の別なく眠つてゐる

元気であって今回我が半島間 ことへなつかことに對し 胞に之が改施を見らるる

率るの決意を固めればならい と思ふのである、御楣となる

同胞最大の榮譽

民たるを 基調として。 頒示さ 見るものである動にも大いに 得らるるものに非ず、要する たるの道は決して容易に達し つても回らに移して以て決め権化である。而して領地 に文御権となる精師は内に つても迫ちに移して以て銃後 國民生活・重楽戦機に失れを

進行落し一死以て機制に報い

府民の聲を聽

からないと思ふのである。 更い からないと思ふのであることを配出せねば る努力を傾倒して頻成に断ぶ

鴨綠江水電社長 久保田 豐 思いを致すべきものでなけれ 長祖に労務に、或は生産力権

の場合の防空関係、含ては風記雲

窓部の紋部も剛頭に立つて部に合せるのであり醫察場を初め

うからと民族の集巻を続して弘服(戦等決職に活躍で直しの間に亘り一位の弊部で即會長等の含さに関えて32ととなってもの職が、監視別や際部の選近を建め、ご中合業項などを行ってあたのと、で計載立案中であり、この避難や日本の能力などの大局が「る所度から極後、町電等等所等に「休憩等を異じし一市民と概ぐらき」日中から随所で開催するの課題や日本の能力などの大局が「る所度から極後、町電等等所等に「休憩等を異じし一市民と概ぐらき、日中から随所で開催するの問題であった。

ではるきに臨時激気を追加した

紙の一大増産を期するものである。

信加敷敷を運殖、今後各道に獲一分の一の約九萬六千鷹を補助する通所には、十八年度計載として一番買りまし える神宮参拜

(ロ)顔笛の放流とその水面にお

先月だけでも十四萬五千名

の窓に燃える民雄の七月中の頭壁」(理が五萬九千八百二十九人となっ) **人**精美 な力味

ならぬ正しい時局の認識を特を

して、漁業組合、或らは、火を

設立年間をあげて淡水魚による魚

日歌壇 吉井勇進



野村證券京城支

店

映画を映画界 エンタしたインター・ アナタット 花菱アチャコ 横山エンタツ 田田 五十鈴 山城 絕讚上映中 五日ヨリ 削

张麗

幣 **堅姫** 金㎡ 生理不順に 部劇楽姬金 ミストロン 日滿 延遂 期に 組織 智品物











けふの市況

第六回(原は側点の思想)

左看落七枚 全建部和歌夫

左看落七枚 全建部和歌夫

大変 全松 ・ カカ

大変 全松 ・ カカ

全元間 ・ カカ

全元間 ・ カカ

全元間 ・ カカ

本力名 人 護計 ・ 歩立の 大力名 人 護計 ・ 歩立の 大力名 人 護計 ・ 歩立の 大力

特进高级岩勝拔戰

如江

合

矢野橋村(繪) 吉川英治(作)

[213]

清算

現株

に鮎、公魚の移植をなす者には紅の目的をもつて湖沼、貯水池など

春百日、関軍な仏然・劉剛のまいたつだ。清水の氷は解けても、陽 後三國志

「都でいっんぼに なられた らし

れがしの概念のこれら

交も指